



オール東京62市区町村共同事業

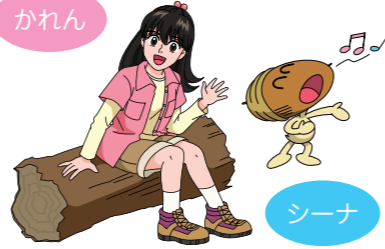
みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん



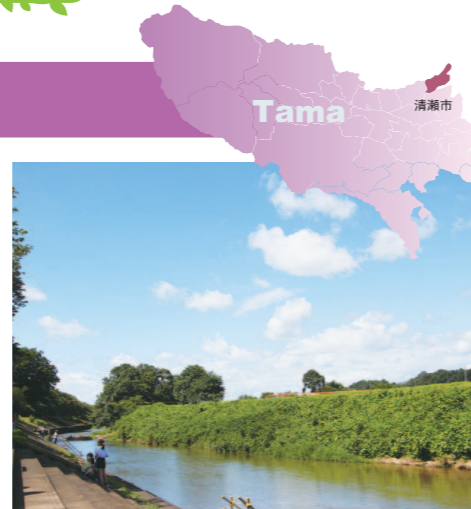
シーナ

1 清瀬市 きよせの環境・川まつり Online

清瀬市では、市民と行政、事業者等の協働による環境イベントとして毎年7月に柳瀬川・台田運動公園内で「きよせの環境・川まつり」を開催しています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、今年度は開催の場をWEBへと移し、特設ホームページ上で環境保全に関する取組を行っている団体や、柳瀬川などといった清瀬の自然についての紹介を行い、どこでも気軽に楽しみながら環境保護の大切さについて考えられるイベントを行う予定です。

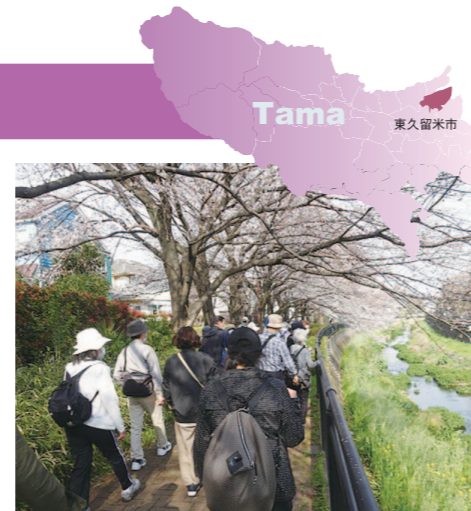
【問合せ先】清瀬市 環境課 TEL 042-497-2099



2 東久留米市 環境保全活動

東久留米市では、環境基本計画及び緑の基本計画に基づき、市民・事業者の環境の保全、回復及び創出に関する取組を推進し、市民・事業者とのパートナーシップによる協力体制をつくるため、東久留米市市民環境会議を設置しています。その中の「水とみどりグループ」では、毎年春の桜の開花シーズンと、秋の紅葉シーズンに合わせてウォーキングイベントを開催しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加人数を制限しましたが、合計30人の参加がありました。

【問合せ先】東久留米市 環境政策課 TEL 042-470-7753



3 御蔵島村 御蔵島小中学校校庭芝生再生事業

御蔵島村では、傷んだ御蔵島小中学校校庭の芝生の再生、維持・管理に取り組んでいます。

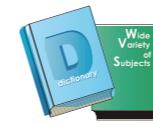
写真は芝刈り前の状態ですが、再生事業を行った部分は雑草もなく、生き生きとしています。

緑豊かな校庭は、学校の児童・生徒たちの授業だけでなく、地域の人々にも遊び場や憩いの場として親しまれています。

【問合せ先】御蔵島村 総務課 TEL 04994-8-2121



多摩交流センターだより



特定非営利活動法人

東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと！

2021年10月講義案内

(受講料：会員は無料・会員以外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
10月7日(木) 14:00から	家庭の予報官になろう —気象情報の見方・使い方—	加納 裕二氏 (元気象研究所長(気象庁))	武蔵野スイングホール 南棟10階 スカイルーム1 (JR武蔵境駅北口 徒歩1分)
10月14日(木) 14:00から	高尾山の四季(行事)	原 秀誠氏 (大本山高尾山薬王院参務)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
10月21日(木) 14:00から	人生の転機	田村 彰弘氏 (日本画家)	武蔵野プレイス 4階 フォーラムB (JR武蔵境駅南口 徒歩1分)
10月31日(日) 14:00から	浮世絵の祖・菱川師宣	あびこ 阿美古 理恵氏 (国際浮世絵学会事務局)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

【問合せ先】TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、10月講義を中止させていただく場合があります。詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

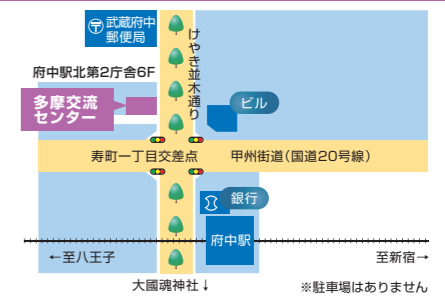
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- スポーツの秋がやってきました。しかし、何と言っても今年は五輪の夏でしたね。紆余曲折の末、緊急事態宣言下で開催された東京オリンピックでしたが、さすがに世界の祭典だけあって、スポーツの持つすばらしい力で、数々の勇気と感動を与えてくれました。次いで開かれたパラリンピックも今月5日に終了します。
- とところで、スポーツの季節が終わると、今度は衆議院議員任期満了を10月に控え、政治の季節を迎えます。国政は皆さんの生活全般に大きく関わりがあるので、是非こちらにも関心を持って注視していただきたいと思います。
- さて、2ページのお知らせのとおり、10月19日(火)には府中市市民活動センタープラッツ パルトホールで調査研究結果発表シンポジウムを開催する予定です。今回は「ひきこもり支援の必要性～多様な生き方を地域で支援する～」という題目です。
- 少子高齢化と人口減少社会が加速する中、80歳の親が50歳の子どもを生活を支える「8050」問題が注目されています。「ひきこもり」というと、限られたごく少数の個人の問題と捉えている人も多いと思います。しかし、今回のコロナ禍の下では、休業などで半ば社会的・強制的に自宅ひきこもらざるを得なかった疑似体験を経験した人々も少なからずおられたのではないかと推察できます。

- ひきこもりは個人の「甘え」や「怠け」、「病気」だけを指すものではなく、学校や職場などの社会環境による色々なきっかけで誰にでも起こり得る、人間社会全体が作り出す多様な問題が体现した状態とも言えます。疾患や障がいが必要となっている場合もありますが、必ずしもそのようなことを抱えた人だけではありません。生きづらい社会に敏感に警鐘をならす「炭鉱のカナリア」的な存在であるとも言えるのではないかと思います。
- 生き方や働き方の多様性が求められている現在において、世間体を気にして「勤めに行く」や「就労ありき」だけが選択肢では、社会の多様性は損なわれます。また、周囲の支援の力できっかけを掴んで自立し、社会と繋がることができたり、さらに進んで社会に役立つ活動を行っている人もいます。
- シンポジウムでは地域の団体・住民の皆さんに、また、自治体にとっても取組の参考事例や支援へのヒントをたくさんご紹介できるものと考えております。是非、多数お運びいただけますよう、ご参加をお待ちしております。まだまだ残暑が続いていますので、体調管理には十分気をつけてお過ごしください。

(M.N)